



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 安田倉庫株式会社  
 コード番号 9324 URL <http://www.yasuda-soko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤井 信行  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 ゆかり  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-3452-7311

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,133	1.9	624	25.9	715	19.6	407	33.2
2020年3月期第1四半期	11,349	1.0	841	7.2	890	5.3	609	7.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,139百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 3,948百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	14.06	
2020年3月期第1四半期	20.91	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	130,139	66,914	51.2
2020年3月期	128,471	68,477	53.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 66,646百万円 2020年3月期 68,200百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		8.50		14.50	23.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		9.50		9.50	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の期末配当金の内訳 普通配当10円50銭 創立100周年記念配当4円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,100	3.5	1,000	45.7	1,450	35.9	990	35.4	34.19
通期	50,000	7.2	2,500	28.0	3,450	22.5	2,370	19.6	81.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	30,360,000 株	2020年3月期	30,360,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,401,186 株	2020年3月期	1,401,186 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	28,958,814 株	2020年3月期1Q	29,177,314 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により企業収益や個人消費が急速に減少し、また、同感染症の世界的大流行の影響等により、国内外ともに景気は悪化し、極めて厳しい状況で推移しました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫物流業界では国内貨物・輸出入貨物ともに荷動きは鈍さを増し、また、不動産業界では都市部におけるオフィスビルの空室率に一部上昇傾向がみられるなど、一段と厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、昨年12月に創立100周年の節目を迎えた当社グループは、2030年のあるべき姿としての「長期ビジョン2030」と、長期ビジョンを実現するための中期経営計画「YASDA Next 100」に基づき諸施策を実行し、次の100年の成長に向けた事業体制の構築と更なる成長を目指しております。その一環として、物流事業においては、付加価値の高いロジスティクス・サービスの提供による取引の拡大や物流施設の拡充など事業基盤の強化を図り、不動産事業においては、既存施設の適切なメンテナンスと機能向上の推進による稼働率の維持・向上に努め、事業拡大を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、物流事業・不動産事業とも減収となり、営業収益は、前年同期比216百万円減(1.9%減)の11,133百万円となりました。また、物流施設の新設に伴う租税公課の増加などにより、営業利益は、前年同期比217百万円減(25.9%減)の624百万円、経常利益は、前年同期比174百万円減(19.6%減)の715百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比202百万円減(33.2%減)の407百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

物流事業では、新型コロナウイルス感染症の影響などにより倉庫作業料や国際貨物取扱料が減少し、営業収益は前年同期比98百万円減(1.0%減)の9,735百万円、セグメント利益は前年同期比215百万円減(25.7%減)の620百万円となりました。

不動産事業では、施工工事の減少の一方、既存賃貸施設における高い稼働率の維持により、営業収益は前年同期比120百万円減(7.3%減)の1,518百万円、セグメント利益は前年同期比18百万円増(3.6%増)の530百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、投資有価証券の時価評価の減少がありましたが、主に有形固定資産の取得により、前連結会計年度末に比べ1,668百万円増の130,139百万円となりました。

負債については、主に短期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ3,231百万円増の63,225百万円となりました。

純資産については、主にその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末に比べ1,563百万円減の66,914百万円となりました。以上の結果により自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.9ポイント減の51.2%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,465百万円減の6,363百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払による減少がありましたが、主に税金等調整前四半期純利益や減価償却費による資金留保等による増加により、593百万円増(前年同期は161百万円減)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により5,745百万円減(前年同期は1,250百万円減)となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、主に借入金の増加により3,717百万円増(前年同期は1,208百万円減)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループ業績は、概ね計画通り推移しております。従って、連結業績予想については、2020年5月8日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,847	6,382
受取手形及び営業未収金	6,186	6,337
その他	615	700
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	14,646	13,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,030	35,237
機械装置及び運搬具(純額)	2,063	1,966
工具、器具及び備品(純額)	647	648
土地	27,946	32,223
建設仮勘定	850	529
有形固定資産合計	65,539	70,605
無形固定資産		
のれん	967	939
借地権	1,016	1,016
その他	1,595	1,544
無形固定資産合計	3,579	3,499
投資その他の資産		
投資有価証券	42,538	40,347
繰延税金資産	422	418
その他	1,768	1,874
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	44,706	42,617
固定資産合計	113,824	116,721
資産合計	128,471	130,139

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	2,731	2,984
短期借入金	4,250	9,250
1年内返済予定の長期借入金	3,998	3,896
1年内償還予定の社債	62	62
未払法人税等	707	140
未払費用	1,272	970
その他	1,321	1,672
流動負債合計	14,345	18,976
固定負債		
社債	487	463
長期借入金	27,107	26,344
繰延税金負債	11,535	10,953
退職給付に係る負債	2,269	2,250
長期預り敷金保証金	3,922	3,931
その他	325	306
固定負債合計	45,648	44,249
負債合計	59,993	63,225
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,602	3,602
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	35,893	35,881
自己株式	△1,170	△1,170
株主資本合計	41,129	41,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,338	25,862
為替換算調整勘定	△375	△443
退職給付に係る調整累計額	107	111
その他の包括利益累計額合計	27,070	25,530
非支配株主持分	277	267
純資産合計	68,477	66,914
負債純資産合計	128,471	130,139

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益		
保管料	1,766	1,863
倉庫作業料	2,183	1,815
陸運料	3,047	3,472
国際貨物取扱料	1,759	1,510
物流賃貸料	403	418
不動産賃貸料	1,129	1,132
その他	1,060	920
営業収益合計	11,349	11,133
営業原価		
作業費	4,939	4,328
人件費	1,882	2,370
賃借料	592	653
租税公課	245	253
減価償却費	620	712
その他	1,519	1,355
営業原価合計	9,799	9,674
営業総利益	1,550	1,459
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	306	351
福利厚生費	58	62
退職給付費用	11	11
減価償却費	29	33
支払手数料	98	105
租税公課	33	82
その他	171	188
販売費及び一般管理費合計	709	834
営業利益	841	624
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	123	127
雑収入	12	47
営業外収益合計	137	175
営業外費用		
支払利息	70	78
雑支出	18	5
営業外費用合計	88	83
経常利益	890	715
特別利益		
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	-	2
特別損失		
固定資産売却損	-	2
固定資産廃棄損	6	5
投資有価証券評価損	-	56
特別損失合計	6	64
税金等調整前四半期純利益	883	654

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
法人税、住民税及び事業税	162	165
法人税等調整額	113	78
法人税等合計	275	243
四半期純利益	607	410
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	609	407



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	607	410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,606	△1,476
為替換算調整勘定	49	△77
退職給付に係る調整額	0	4
その他の包括利益合計	△4,556	△1,549
四半期包括利益	△3,948	△1,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,947	△1,133
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	883	654
減価償却費	649	746
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△28	△12
受取利息及び受取配当金	△125	△128
支払利息	70	78
固定資産廃棄損	6	5
売上債権の増減額 (△は増加)	1,537	△159
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,652	256
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	110	9
その他	△952	△194
小計	499	1,255
利息及び配当金の受取額	124	132
利息の支払額	△80	△90
法人税等の支払額	△706	△703
営業活動によるキャッシュ・フロー	△161	593
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,131	△5,661
有形固定資産の売却による収入	-	5
無形固定資産の取得による支出	△82	△74
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△35	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,250	△5,745
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	300	5,000
長期借入れによる収入	-	100
長期借入金の返済による支出	△1,164	△938
社債の償還による支出	-	△24
配当金の支払額	△343	△411
その他	△1	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,208	3,717
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,624	△1,465
現金及び現金同等物の期首残高	7,786	7,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,161	6,363

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	9,827	1,522	11,349	-	11,349
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	6	116	123	△123	-
計	9,834	1,639	11,473	△123	11,349
セグメント利益	835	511	1,347	△505	841

(注) 1. セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△499百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	9,732	1,401	11,133	-	11,133
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3	117	120	△120	-
計	9,735	1,518	11,254	△120	11,133
セグメント利益	620	530	1,150	△526	624

(注) 1. セグメント利益の調整額△526百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△526百万円が含まれております。全社費用は、親会社の総務部門等、管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。